

草津市指定管理者選定委員会議事概要

開催年月日	平成25年9月6日(金)	開催時間	午後1時30分から 午後2時30分まで
開催場所	草津市立草津アミカホール 2階 文化教室1	公開・ 非公開	一部公開 (審議にかかる部分は非公開)
出席者	委員5名、担当課職員4名、事務局6名		
傍聴者	0名		
付議事項	指定管理者選定に係る方針に対し意見を求めることについて(継続審議) 草津市立草津アミカホール		

＝議事次第＝

事務局あいさつ

- 1 担当課説明
- 2 質疑応答
- 3 討議
- 4 採決

＝概要＝

☆前回、アミカホールの指定管理者の候補者を非公募で選定するよう変更する方針について審議いただいたところ、判断するには資料不足であるとの指摘があったため、資料を整えて再度説明し、審議いただくことになった。

1 担当課説明

- ・アミカホールの位置づけ
⇒芸術性の高い環境空間として整備し、市民に参加・創造・発表・交流する場として提供し、市民に身近なホールにしたい。
- ・中間支援組織
⇒市民と市民、市民と市の中に立ち、まちづくりを進める組織。「地域」とは別に「目的」で市民等を繋ぐことを支援する中間支援組織としては、社会福祉協議会と草津市コミュニティ事業団（以下単に「事業団」という。）がある。
- ・（指定管理者の候補予定者である）事業団はどういう団体か
⇒草津市100%出資の公益法人、他分野にわたる施設を運営しており、相互のネットワークを活かせる。
⇒まちづくり活動に各種の助成をしたり、小規模なものから多数の市民の参加を見込める規模のイベントをしたりしている。
- ・稼働率等他の文化ホール施設との比較
⇒全国的には500～1000の客席のホールが多いが、アミカホールは300席
⇒稼働率はかなり高い。自主事業費、収入充当率は低い。
- ・これからの事業運営計画
⇒アミカホールを拠点とし、地域・コミュニティへ活動を広げるアウトリーチ事業を核とする。

2 委員の主な意見と質疑応答

<委員（以下「委」という。）>：事業団と社会福祉協議会との関係は

<施設所管課（以下「施」という。）>：共に中間支援組織だが分野が違い、互いを支援するというのは今のところ考えていない。

<委>：県内の同規模施設の運営形態は直営か指定管理か。

<施>：半数が直営、あと半数が指定管理。

<委>：自主事業における収入充当率が低い理由は

<施>：無料もしくは500円くらいの安い入場料に設定しているため。

<委>：自主事業の財源は

<施>：こちらが指定して渡している200万を超える部分は事業団の中の基金を取り崩し補っているときいている。

<委>：事業団以外が指定された場合のデメリットは

<施>：事業団の持っている地域とのネットワークが失われる。

<委>：同規模の他のホールはどのような方向性で運営されているか。有名な芸術家を呼んでくるのか。それとも市民の方を育てていくような身近な発表の場か。

<施>：有名な人を呼んできて赤字が出ないためには少なくとも1500席から2000席は必要といわれており、アミカホールと同等の300席くらいのホールは全国的には貸館重視になってしまい、文化的な講座をされるか落語等をされるくらいのものになっているところが多い。

<委>：移管されると新聞報道されている創造館との関連性は

<施>：創造館のホールも800席と決して多くは無く、移管されたら、市民に近い施設としてアミカホールと創造館と2つの拠点を活用できたらと考えている。

<委>：儲けはないと割り切ってアウトリーチという方向性は戦略的に賛成するが、非公募で任せた場合に事業がうまくいかなければ指定を見直し、取り消すことができるのか。

<施>：大きな問題が生じるような管理運営しかできなければ、協定違反となるので、直営を考える。

<委>：過去にそのような事例はあるか。

<事務局（以下「事」という。）>：草津市ではない。会社が倒産したなどの理由で、全国的にはある。

<委>：取り消しは別にして、評価は厳しい目でしていくべきで、今後考えて欲しい。

<委>：公募から非公募や直営に切り替えるのは珍しいのか。

<施>：草津では初めて。全国的には貸館を重視するので直営にされることもある。

<委>：貸館だけでは、何もすることがないだろう。

3 討議

<委>：割り切れない。実績ある現状を肯定し続けるために必要ということだと思うが、公募を非公募に変えるのはやはり異例なことだと思うので、公募して結果的に事業団が選ばれるかもしれないでは駄目なのかという思いが根底にある。

<委>：条件付賛成というのはどうか。やむを得ず賛成なら委員会としてやむを得ず賛成だというのははっきりさせとくというのも大切だと思う。

<委>：例外的な扱いであることをはっきりさせておいた方がよいと思う。

<委>：本来的には公募が望ましいという要旨を伝えて付帯意見とするのも一つだ。

<委>：確認だが募集方法を変えるのは、はじめてか。非公募は他にあるか。

<事>：はじめて。最初から非公募のものは会議資料のとおり存在する。

<委>：非公募は競争団体が他に無いところから始めるのだから評価はちゃんとしていたきたい。

<委>：始めから非公募ありきになりすぎているということ。

<委>：市民に対しての説得力がなければならない。

4 採決

以上のような意見があり、挙手による採決が行われた。

出席委員全員非公募の方針に賛成されたが、原則は公募であることに鑑み、より適切な評価・監督を求めるといような趣旨の意見が付された。（別添答申のとおり）